

今話題の世界の熱帯医学、渡航医学、感染症に関する
ニュース&トピックスをピックアップして配信いたします。

ブラジルでの新しいマラリアの流行 (*Plasmodium simium*)

2015年～2016年にかけてブラジルリオネジャネイロ州で49例の *P. simium* によるマラリア感染症の症例が報告された。臨床症状、血液像は *P. vivax* に類似しており、Chloroquine, Primaquine への反応も良好であった。Hypnozoite を作るかどうかは現時点では不明であるとのこと。サルとヒトとで流行する人畜共通感染症である。
人畜共通感染症であり、根絶は困難である。症状、血液像、治療の反応とも *P. vivax* と同様で臨床的にはあまり困らないかもしれない（簡易キットの反応は不明）。薬剤耐性が少ないのが幸いだ、今後このマラリアがどのように広がりを見せるか注目したい。
Lancet Glob Health. 2017 Aug 31.

妊娠中のデングウイルス感染による 早産、低出生体重児、胎児危険のリスクの検討

妊娠中のジカウイルス感染症のようにデングウイルスが早産、低出生体重児、胎児奇形のリスクに影響をあたえるかどうかの調査、研究がブラジルで行われた。後ろ向きコホート観察研究にて3898人のデング陽性の妊婦、3165人のデング陰性の妊婦、3898人の新生児について検討を行った。低出生時、胎児奇形のリスクは増加しないが、症候性デング感染症により早産のリスクは増加した。
デング熱感染症はジカ熱と異なり胎児奇形のリスクとならなかったのは、幸いであった。デング熱感染症を起こすと早産、死産のリスクが上昇する報告は他にもある。
Lancet Infect Dis. 2017 Sep;17(9):949-956.
Lancet Infect Dis. 2017 Sep;17(9):957-964.

■ □ ■ 【発行元】 特定非営利活動法人グローバルメディカルサポート (月2回)

- MAIL. info@npo-gms.org
 - URL. <http://npo-gms.org/index.html>
 - FB. <https://www.facebook.com/NPOGMS/>
-